

平成31年度 京都市立北醍醐小学校 学校経営方針

- | | |
|-----------|--|
| <学校教育目標> | お互いを大切にし 高まり合う明るい子 |
| <目指す子ども像> | ○人やものを大切にする子 ○進んで行動する子
○粘り強い子 ○健康や安全に気をつける子 |

人権教育（子どもの人権を大切にした教育活動の推進）

時間を大切に考える。（授業時間・休み時間・給食時間の確保）

学習環境を整える。（ニバーサルデザインや安全面）

授業中の発言は、「です」「ます」を高く意識する・させる。

授業研究と生徒指導の一体化

主体的に学ぶ姿を追求する授業研究

児童自らが考えて判断し、行動する授業や学校生活の在り方を追求する。

☆全国テストやジョイントプログラム等の結果を軸に取組の提案や改善をする。

☆主体的で対話的な深い学びを追求（はなす・きく・よむ・かく）する。

☆家庭学習の習慣化や外国語活動に関わる環境整備、読書活動を推進する。

生徒指導

授業や生活の場面で積極的な生徒指導を実践する。

自己決定の場を与える 自己存在感を与える 共感的人間関係を育成する。

あいさつ・そうち・「～さん」づけ を意識する。

『いじめ』事案につながる言動に注意を払い、気になることは声を掛け合う。

総合的な学習の時間 <総合的な学習の時間 目標>

自ら課題を見つけ主体的・創造的・協働的に解決しようとする態度を育てる。

* 地域を題材に教科横断的な学習を進め『はなす・きく・よむ・かく』力を高める。

《探究課題》 地域を知る 地域の課題を探る 地域と自分の未来を考える

3年生《醍醐の『すてき』を見つける》

醍醐寺・五大力・醍醐の桜・醍醐山・見まもり隊・子うま文庫・バスや地下鉄

4年生《醍醐のなぞを調べる》

醍醐の産業（過去から現在）洛東用水（琵琶湖疏水）山科川（昔と今）

5年生《自分と醍醐の暮らし（だれもが住みやすい街 醍醐 1）》

少子高齢化（北醍醐の現状）から公共施設や社会福祉施設（同和園）働く人について

6年生《自分と醍醐の未来（だれもが住みやすい街 醍醐 2）》

歴史的建造物や文化遺産・学校や地域の変遷（人口の変化や分布と交通の発達）

醍醐と自分の未来を考える

縦割り活動

子ども同士の関わりの中で、リーダー的存在を育てる。(高学年へのあこがれ)
たてわり給食・掃除・運動会・遊び・なわとび大会など

道徳教育

重点目標 誰に対しても思いやりの心をもち
自律的に善悪を判断し 責任を果たす子どもを育成する

重点項目 善悪の判断、自律、自由と責任 親切、思いやり

小中一貫教育の推進

総合的な学習の時間や人権教育を中心に据えて取組を進める。
授業を通した指導内容や指導方法の共有化を進める。

各教科や総合的な学習の時間では

- ・時間のまとまりの中で、習得・活用・探究活動をバランスよく取入る。
- ・「めあて」と「まとめ」を確かなものにし、見通しをもち粘り強く探求する姿を育てる。
- ・対話のある学習活動を意識して、単元を見通した学習指導を展開する。
- ・「ふりかえり」で個のまなびを確かめる。
- ・学習したことの意義や価値を実感できるようにする。
- ・記録 要約 説明 論述 発表 討論等の言語活動を発達段階に応じ適切に取り入れる。